

CELLO ENSEMBLE MUSASHINO

2016年6月7日(火) OPEN 18:30
START 19:00

ルーテル市ヶ谷ホール

〈全席自由〉一般3,500円 / 学生2,000円 / ペア券6,000円

お問い合わせ: cello_ensemble_musashino@yahoo.co.jp

後援: 武蔵野音楽大学 日本チェロ協会

J. S. バッハ: ブランデンブルク協奏曲第6番

D. ポッパー: 演奏会用ポロネーズ作品14

O. レスピーギ: リュートのための古風な舞曲とアリア 第3組曲

H. ヴィラ=ロボス: ブラジル風バッハ第1番 etc...





浅井智佳子 CHIKAKO ASAI

千葉県習志野市出身。千葉県立幕張総合高等学校卒業、武蔵野音楽大学卒業。これまでに、チェロを白神あき絵、勝田穂一、三宅進の各氏に、室内楽をZ・ティバイ、K・グントナーの各氏に師事。また、草津夏季国際音楽アカデミーにてタマーシュ・ヴァルガのマスタークラスを、エクソ=アン=プロヴァンス国際音楽アカデミーにてフランソワ・バドゥエルのマスタークラスを受講。
現在、フリーチェロ奏者としてオーケストラや室内楽を初めイベント演奏やライブ活動等、様々な場で幅広く活動する傍ら、オーケストラ講師から個人レッスンまで後進の指導にもあたる



白佐武史 TAKEFUMI SHIRASA

銅路市出身。15歳よりチェロを始める。武蔵野音楽大学卒業、同大学院博士前期課程修了。チェロを桜井敬一、Clemens Doll、花崎薫の各氏に、室内楽奏法をKálmán Berkes、Zsolt Tibay、Kurt Guntnerの各氏に師事。卒業後渡独し、ゲヴァントハウス管弦楽団ソロ首席奏者Christian Giger氏のもとでさらに研鑽を積む。ルーマニア国際音楽コンクール、ザルツブルグ=モーツァルト国際室内楽コンクール等入賞。これまでに数多くの著名なアーティストのツアーやレコーディングに参加。
新日本フィルハーモニー交響楽団の契約団員を経て、現在東京を拠点に室内楽奏者、オーケストラ奏者、スタジオミュージシャンとしての活動を中心としながら、タンゴ、ブラジル音楽など幅広いジャンルの演奏活動を全国各地で行っている。また、演劇集団キャラメルボックスへの楽曲提供など、作曲曲も手掛ける。



原悠一 YUICHI HARA

札幌市出身。10歳の時にチェロをはじめる。
2011年武蔵野音楽大学卒業、2014年東京芸術大学別科修了。第14回「長江杯」国際音楽コンクール弦楽器部門一般の部A第2位。第21回日本クラシック音楽コンクール全国大会弦楽器部門一般の部(男子)第3位(1,2位なし)。第6回夢科音楽コンクールin東京室内楽部門第3位(1位なし)。チェロを文屋治実、花崎薫、田中雅弘、西谷牧人、メズー・ラースロー各氏に師事。室内楽を田中雅弘、市坪俊彦、ペーター・コムローシュ、各氏に師事。
現在、都内で室内楽やオーケストラを中心に活動している。中部フィルハーモニー交響楽団団員。



平山正三 SHOZO HIRAYAMA

千葉県出身。8歳よりチェロを始める。武蔵野音楽大学を経てミュンヘン国立音楽大学大学院へ留学する。渡独中にヨーロッパ各地の音楽祭や国際音楽アカデミーに参加する。また、ミュンヘン市立音楽院にて教会音楽の研鑽を積む。これまでにチェロを黒川正三、クレメンス・ドル、嶺田健、堤剛、ライナー・ギンツェル、ダビット・グリゴリアン各氏に師事。
2006年の帰国後、東京を拠点にソロ、室内楽、スタジオレコーディング等の演奏活動や後進の指導を続け、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京ニューシティー管弦楽団、読売日本交響楽団などに客演する。



前田善彦 YOSHIHIKO MAEDA

武蔵野音楽大学卒業。チェロを清水勝雄氏、室内楽をL. グレーラー、U. コッホの両氏に師事。
松尾音楽財団からの研究費授与により渡英し、アマデウス弦楽四重奏団のブレニン、ニッセル、ロベットの3氏に師事する。その後、アメリカのポートランド弦楽四重奏団と共演するなど、室内楽の分野で積極的に活動を行う。そのほか、ピアノの中村由利子らとアコースティック・カフェを結成するなど様々なジャンルに挑戦する。
現在、小野リサ、椎名林檎、湘南乃風など、アーティストのステージサポートやレコーディングを数多く行っている。また、このような活動と平行して武蔵野音楽学園で講師も勤める。



三宅進 SUSUMU MIYAKE

桐朋学園、米田インディアナ大学にて、木越洋、安田謙一郎、ヤーン・シュ・シュタルケルの各氏に師事。
新ヴィヴァルディ合奏団、群馬交響楽団首席チェロ奏者、イン弦楽四重奏団チェリストを歴任。ヴァン・シャーマン指揮ドイツ・パッサ・ゾリステンへ参加。ソリストとして全国各地でのリサイタル、台湾国家交響楽団、仙台フィル、群響などのオーケストラとの共演、またヘルヴィック・ツァック(シュツットガルト室内管元コンマス)、フェデリコ・アゴスティーニ(イ・ムジチ合奏団元コンマス)ペーター・シュミードル(ウィーンフィル首席)、ヨセフ・ハラの諸氏らとの室内楽など活発な演奏活動を展開している。
近年は海外での公演も多く、ドイツ、イタリア、韓国、マレーシア、台湾、中国、等でのリサイタル、オケの共演、室内楽はいずれも好評を博している。
音楽監督を務める仙台市宮城野区文化センター主催室内楽シリーズ「MusicFromPatona」は、第4回ウィーンフィル&サントリー音楽復興記念賞を受賞。CDは「ラフマニノフ・チェロソナタ」「ZAL」「MiyakeSusumuAndFourGreatCellos」
現在仙台フィルハーモニー管弦楽団ソロ首席奏者。武蔵野音楽大学および附属高校講師。



棟元名美 NAMI MUNEMOTO

6歳からピアノ、15歳からチェロを始める。郡山女子大学附属高等学校音楽科(ピアノ専攻)卒業、武蔵野音楽大学卒業、ハンガリー国立リスト音楽院修了。留学中、マヤ弦楽四重奏団として演奏活動を行う。チェロを青柳善美、チャバ・オンツァイの各氏に、室内楽を磯良男、菅原英洋、クレメンス・ドル、シャンドール・ナジ、バルトーク弦楽四重奏団のゲーザ・ハルギタイ、シャンドール・デヴィッチの各氏に師事。
現在、オーケストラや室内楽の他、ライブのサポートなど幅広く活動しながら、後進の指導にあたっている。



山崎みのり MINORI YAMAZAKI

武蔵野音楽大学卒業、同大学院修士課程修了。在学中より数々の演奏会に出演、卒業演奏会、大学院修了演奏会出演。これまでにチェロを清水勝雄、三木敬之、C.ドル、藤森亮一の各氏に師事。第37回北九州芸術祭クラシックコンサートグランプリ受賞。ベルギー・アルデンビーゼン古城音楽祭、ハンガリー・ブダペスト・スプリング・フェスティバル等の海外音楽祭に招聘され出演。V.アッシュケナーズ氏監督による「ラフマニノフ・プロジェクト」にて、G.フェイギン、E.アッシュケナーズ氏とピアノトリオを共演、各紙にて好評を博す。クルト・グントナー氏指揮による武蔵野音楽大学室内管弦楽団とハイドンのチェロ協奏曲を共演。
現在、ソロ、室内楽、録音等で演奏活動を行っている。武蔵野音楽大学講師、同大学附属音楽教室講師。